

4

基本目標

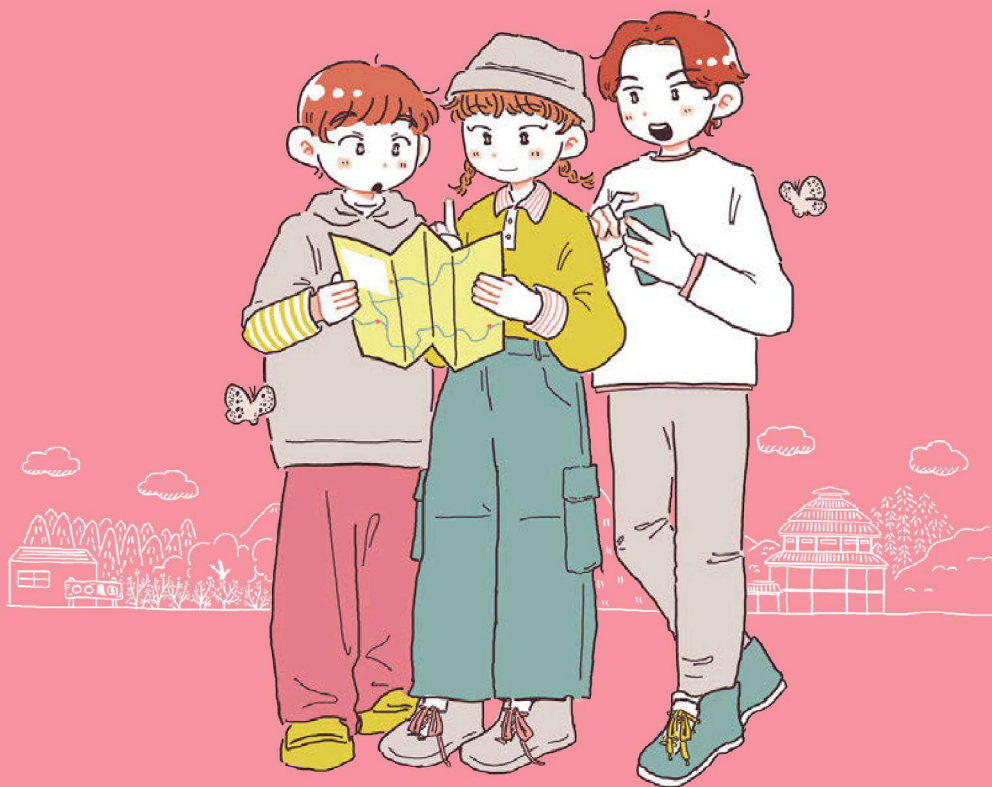


《町の宝をみんなで創る》

魅力を高める

「山の都」のまちづくり





yamato-town

—基本方針—

- 4-1. 観光資源の発掘と受入体制の強化
- 4-2. 観光の産業化による地域の持続可能な発展
- 4-3. 地域資源の再認識と活用
- 4-4. 商店街や道の駅のにぎわいづくり
- 4-5. 伝統文化・芸術文化の継承と振興
- 4-6. スポーツに親しむ機会の創出

4-1

yamato-town

観光資源の発掘と受入体制の強化



町の現状・課題

- 「山の都はワンダーランド」をコンセプトに、自然（九州脊梁山地など）、文化遺産（通潤橋、清和文楽など）、有機農業や食文化など町の魅力を発信しています。
- 観光客の動態をみると、通潤橋の放水時間の来訪者は多くなっているものの、前後の時間における観光客は少なく、観光客の滞在時間の短さが課題となっています。
- 通潤橋への来訪者が他の観光施設への来訪につながっておらず、観光メニューの構築が重要です。
- 観光客の滞在時間が短いため、町内を1日周遊し、宿泊や飲食をする観光客の増加を推進します。
- 全国的に訪日外国人旅行者数が増加しており、多様化する観光客への対応が課題となっています。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
町内宿泊者数	14,928人	17,000人	20,000人
町観光ナビ LINE 登録者数	8,500人	10,000人	12,000人

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①町観光資源の情報発信と広域連携】

- 通潤橋や清和文楽などをはじめとする観光資源のさらなるイメージ向上のため、パンフレットやウェブ、SNS など多様な媒体を活用し、町への来訪意欲を高めます。
- 近隣自治体や広域観光団体等と連携し、観光客増加に向けた取り組みを推進します。

主要な取り組み

- ・ 町公式 SNS を活用した情報発信
- ・ 観光関係広域連携団体の活動強化
- ・ 観光協会との連携強化
- ・ 観光情報のデジタル化

【②周遊性を高める観光環境の整備促進】

- 宿泊を伴う観光モデルコースを作成し、観光客が地域の魅力をゆっくり体験できる仕組みを整えるとともに、フットパス²⁷ など歩いて楽しめるコースづくりや周遊しやすい環境整備の検討を進めます。
- 周遊モデルコース作成とともに、地域の特産品開発なども進め、町民にとっても新たな魅力を再発見できる機会を創出します。

主要な取り組み

- ・ 周遊モデルコースの作成及び活用
- ・ フットパス事業の推進

【③インバウンド需要への円滑な対応】

- 町観光振興計画等に基づき、案内の多言語化などを進め、インバウンド客等の誘客を行います。
- 町内主要施設での購買データを分析し、お土産等の販売戦略を策定します。

主要な取り組み

- ・ 各種案内の多言語化
- ・ 購買データ分析と販売戦略策定

【④観光施設の計画的な維持管理】

- 町有施設の計画的な修繕や機器更新等を行い、施設の長期休止を防ぎます。また、改修やバリアフリー化に係る取り組みを推進します。

主要な取り組み

- ・ 町有施設の長寿命化のための計画的な修繕等
- ・ 施設の長寿命化、バリアフリー化の推進

みんなで取り組むこと



- 観光客へのおもてなしの意識を高めましょう。
- 地域の魅力を生かしたサービスや商品開発などに協力しましょう。

²⁷ フットパス：町の景観や暮らしを楽しみながら歩くための散策路。

4-2

yamato-town

観光の産業化による地域の持続可能な発展



町の現状・課題

- 本町は自然や文化遺産等、質の高い観光素材を有しながらも、滞在時間の延長につながっていないことが課題となっています。
- 観光素材や食を生かした観光消費額の拡大につながっていないことも課題となっています。
- 町の魅力の情報発信については、町内関連事業者と情報共有を図るとともに、観光客の多様なニーズに応えられるよう質・量ともに充実した内容とすることが重要です。
- 事業者の連携による観光の産業化を図ることで、地域経済の活性化等につなげる意識の共有が必要です。



数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
道の駅（通潤橋、清和文楽邑、清和物産館、そよ風パーク）・通潤橋ミエルテラスの売上金額	46 千万円	51 千万円	56 千万円

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①持続可能な地域づくりを目指した観光の産業化】

- 個店や観光素材を面的につなげ、観光客の満足度の向上による観光収入の増加を目指します。
- 観光収入の増加による地域経済の活性化を図り、観光の産業化を推進します。
- 観光の産業化により、持続可能で収益性の高い地域経済の好循環を目指します。

主要な取り組み

- ・ 代表的な観光素材以外のヒト・モノ・コトに焦点をあてた観光資源のデータベース化
- ・ 個店の魅力アップや各産業の集合体（連携等）として収益性のある観光産業化の推進

【②山の都の自然と暮らしに調和した観光地域づくり】

- 地域の景観と暮らしを守り、自然と暮らしが調和した観光地づくりを目指します。
- 有機野菜やジビエ、地域の特産品等「食」の付加価値を高めた観光資源づくりを目指します。
- 地域間や事業者間が連携した商品開発に取り組むとともに、販路拡大を目指します。

主要な取り組み

- ・ 文化遺産（通潤橋、清和文楽等）・自然遺産（阿蘇ジオパーク（蘇陽峡）等）の活用
- ・ 地域の魅力ある「食」の訪問者への提供とともに、都市圏等への販路拡大

【③観光地域づくりへ向けた人材育成】

- 町内事業者の連携と観光関連人材の育成を目指します。
- 町内事業者のおもてなし力の向上を推進します。

主要な取り組み

- ・ 観光協会を核とした町内連携体制の構築
- ・ 観光データマーケティングやランドオペレーター²⁸等の人材育成



みんなで取り組むこと



- 地域の暮らしや景観を守ることが、未来につながる地域や観光地づくりになる意識を持ちましょう。
- 自分たちの暮らしを守る延長線上来訪者へのおもてなしがあり、経済循環につながっていくことを意識しましょう。

²⁸ ランドオペレーター：旅行会社から依頼を受けて、現地での宿泊、交通、観光案内などの手配を行う事業者。

4-3

地域資源の再認識と活用

yamato-town



町の現状・課題

- 本町には貴重な歴史的・文化的資源が豊富に存在しており、町のシンボルでもある通潤橋は令和5年に国宝に指定されました。
- 豊かな自然資源に恵まれ、その多様性が際立っています。希少性の高いブナ、ナラ、ミズナラなどの原生林が広がり、国の特別天然記念物に指定されているニホンカモシカや国指定天然記念物であるゴイシツバメシジミなど、貴重な動植物が生息しています。
- これらの豊かな資源を将来へ継承するため、今後も町民に対する啓発や保存活動等が重要となります。



数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
指定文化財数	124件	124件	124件

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①文化財の価値付けの推進】

- 町内に残る各種の文化財について、価値を把握することに努め、「山の都」の個性となりうる重要なものは、文化財指定を進めます。

主要な取り組み

- ・文化財の調査、史資料の収集、調査報告書等の刊行

【②保全・活用に向けた取り組みの推進】

- 指定文化財を中心に適切な保存管理、活用と整備、普及啓発を進めます。また、重要文化的景観「通潤用水と白糸台地の棚田景観」を「山の都」における景観づくりの重点地域として保全・活用を推進します。

主要な取り組み

- ・国宝通潤橋（附指定の物件 御小屋、御試吹上樋等）の次世代への継承
- ・重要文化的景観の保存と活用
- ・天然記念物の保護（ゴイシツバメシジミ、ニホンカモシカ、唐傘松等）
- ・歴史的建造物（町指定文化財 新八代屋の家屋など）の保存と活用
- ・重要史跡、名勝等（矢部城跡ほか中世城跡、西南戦争関連史跡など）の保存と活用

【③町民と一体となった地域資源の発掘と活用】

- 身の回りにあふれる「山都町らしさ」を象徴する新たな地域資源（景観や自然環境、湧水やパワースポット）の発掘と活用について、町民一体となって進めます。
- 適切な情報発信を行い、保全と活用の取り組みに幅広い分野の住民参画を促します。

主要な取り組み

- ・町民一体となった町資源の発掘
- ・SNS等を活用した情報発信の充実とDX化の推進



みんなで取り組むこと



- 郷土の歴史や文化に興味を持ち、それらに触れる様々な機会を大事にしましょう。
- 町の魅力について、積極的に探してみましょう。

4-4

yamato-town

商店街や道の駅のにぎわいづくり



町の現状・課題

- 山都通潤橋 IC 出口付近の交通量は、開通前に比べ大幅に増加しましたが、町内各観光施設への来訪者の増加にはつながっていない状況です。町の主要観光施設への誘客が課題となっています。
- 町内を周遊している観光客は少ないものの、やまと文化の森では様々なイベントや企画を行い、来場者から大変好評を得ています。
- 商店街については、空き店舗や空き家の増加、担い手不足などによって、活気が低下することが今後も懸念されています。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
道の駅（通潤橋、清和文楽邑、清和物産館、そよ風パーク）・通潤橋ミエルテラスの売上金額	46 千万円	51 千万円	56 千万円
やまと文化の森来場者数	42,863 人	45,000 人	47,000 人

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①商店街の魅力向上】

- 商店街の魅力を高めるため、イベント開催を支援し、訪れる人々が楽しめる工夫を図ります。

主要な取り組み

- ・ 商工会との連携強化
- ・ 空き店舗対策
- ・ 各商店街の振興

【②道の駅の魅力向上】

- 道の駅の魅力を高めるため、地域特産品の開発促進等を支援します。
- 施設の利便性やサービス向上を図り、町民と観光客の双方に親しまれる拠点にします。

主要な取り組み

- ・ 独自商品の開発、販売の推進
- ・ 物産館の連携事業への支援

【③個性豊かな商店街や道の駅の発信】

- 商店街にはビーガン対応の飲食店や昔ながらのお店など、様々な魅力あふれる店舗が営業しており、道の駅では有機野菜やお茶やお酒、お米やジビエなど地域の特産品が毎日集まります。それらの魅力を町内外の人へ広く発信し、商店街の活性化を推進します。

主要な取り組み

- ・ 町公式 SNS を活用した情報発信の充実



みんなで取り組むこと



- 商店街等で開催されるイベントに参加してみましょう。
- 商店街や道の駅など、町内での商品購入を心がけましょう。

4-5

yamato-town

伝統文化・芸術文化の継承と振興



町の現状・課題

- 各種団体の活動を通じて芸術文化に触れる機会が生まれ、地域文化の発展・振興につながっています。
- 本町には八朔祭での「大造り物」や「清和文楽」、「神楽」などをはじめとする多彩な伝統文化や伝統芸能が伝承されています。
- 各地で保存会が組織され、定期的な練習や発表の場を確保するなど、継承に向けた取り組みが続けられていますが、保存会の担い手の高齢化等も進んでおり、将来を担う世代の参加が少なくなっていることが大きな課題となっています。



数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
文化芸術関連行事の開催回数	17回	17回	17回
郷土芸能保存会組織の団体数	11団体	11団体	11団体

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①伝統文化・芸術文化に触れる機会の提供】

- 質の高い優れた芸術文化に直に触れる機会を提供し、町民の豊かな感性の育成に努めます。
- 地域や学校等と連携し、伝統文化を守るための学習や機会を設けるなど、地域一体となった活動を支援します。

主要な取り組み

- ・ 山都ふれあい・スクールコンサートの開催
- ・ 町民向け映画上映会の開催
- ・ 地域における伝統芸能発表の機会の創出

【②団体等と連携した文化振興に向けた人材の育成】

- 町内の文化芸術関係団体や独自の活動者等と連携し、芸術文化事業の推進を行います。
- 町内にある文楽・神楽等の保存会への助成を行います。
- 各地域の祭りや年中行事、伝統芸能等の保存や継承を関係団体と連携し、後継者の育成を支援します。

主要な取り組み

- ・ 文化芸術関係団体や伝統文化保存団体への支援
- ・ 伝統文化、芸能の次世代への継承に向けた人材育成

【③伝統文化・芸術文化の保存や継承、魅力の発信】

- 地域に伝わる伝統文化・芸術文化の記録と保全を図るため、映像や資料等の整理・収集を進めるとともに、デジタル化を推進し、町独自の文化の保存に努めます。
- 観光施策と伝統文化・芸術文化の発信機会を結び付け、効果的な情報発信を行うことで、町内外からの祭りやイベント等への参画を促進します。

主要な取り組み

- ・ 伝統文化・芸術文化のデジタルアーカイブ²⁹の推進
- ・ 伝統文化・芸術文化の発信の機会創出
- ・ 町内外に向けた効果的な情報提供



みんなで取り組むこと



- 町で開催される文化活動に参加してみましょう。
- 学校や地域における様々な文化に触れる機会を大切にしましょう。
- 町に残る行事や伝統芸能などの活動に参加しましょう。
- 伝統芸能等について、担い手として関わってみましょう。

²⁹ デジタルアーカイブ：資料や記録をデジタル化し、保存・公開・活用を可能にした仕組み。

4-6

yamato-town

スポーツに親しむ機会の創出



町の現状・課題

- 本町における高齢化率は高くなっていますが、高齢者が介護等に頼らずいつまでも健康で元気に暮らすことは、医療費の削減にもつながります。
- 部活動の社会体育移行に伴い、総合型地域スポーツクラブの充実を図る必要がありますが、指導者の確保や育成などが課題です。
- 自治振興区によるスポーツやレクリエーション活動の実施で、さらなる健康増進に向けた取り組みの充実が求められます。また、子どもから大人まで誰もが健康な生活を送れるための環境整備に努めています。
- スポーツ推進計画に基づき、スポーツを通じた活力あるまちづくりを進めています。
- 総合体育館パスレル、サッカー場、中央グラウンドを含む運動公園の全体の整備が完了し、利用者が安全に安心してスポーツに取り組める環境が整いました。

数値目標

指標名	R 6	R 11	R 15
総合型スポーツクラブの加入者数	131人	160人	200人
スポーツ等合宿誘致数	0件	10件	20件
町営スポーツ施設の延べ利用者数	12,500人	15,000人	18,700人

まちづくりの方向性と具体的な取り組み

【①指導者の確保、育成】

- 行政、町スポーツ推進委員、町スポーツ協会などの関係機関と連携し、総合型地域スポーツクラブの指導者の確保・育成に努めながら、地域におけるスポーツ人口を増やす取り組みを進めます。

主要な取り組み

- ・ 支部体協やスポーツクラブ関係者も含めた研修（講習）会への参加

【②町民が集うスポーツ大会等イベントの実施】

- 各種スポーツ教室・大会など町民がスポーツに親しむ機会の充実を図ります。また、町内施設を利用した合宿の誘致にも注力します。

主要な取り組み

- ・ スポーツ教室やスポーツ大会の開催及び支援
- ・ 合宿誘致の推進

【③安心して活用できるスポーツ施設の整備】

- スポーツ優秀選手の育成や種目の競技力向上・発展のため、環境整備や活動支援を行います。
- 身近な場所でスポーツやレクリエーションを楽しめるように、学校施設の開放や既存施設の点検・整備を行うほか避難所機能も備えるなど、気軽に親しみやすく、安心して利用できる施設の環境整備を行います。

主要な取り組み

- ・ スポーツ施設の環境整備



みんなで取り組むこと



- 日頃から運動する習慣を身に付けましょう。
- 町のスポーツイベントに積極的に参加しましょう。